

日本生産性本部 第3次中期運動目標
「公益法人としての組織・活動の進化と
生産性運動の実践力の深化の3年」



日本生産性本部は
SDGsの達成に
貢献します

生産性新聞

2024年(令和6年)11月25日(月曜日)

第2770号

日本生産性本部のサ
ービス産業生産性協
会は10月30日、202
4年度JCSI(日本
版顧客満足度指数)の
第3回調査結果とし
て、7業種84企業・ブ
ランドの顧客満足度
を発表した。語学教育
ECCが教育サービス
で初の1位となった。

ECC、教育サービスで初の1位

24年度JCSI第3回調査結果

- 各業種の顧客満足度上位企業・ブランドは以下の通り。
- 自動車販売店1位
 - 2位メルセデス・ベンツ正規ディーラー(75)
 - 3位スズキの正規販売店/BMW正規ディーラー(ともに74・4)、5位マツダの

- 正規販売店(74・2)。
- シティホテル(74・1)。
- 帝国ホテル(82・4)。
- 2位ホテルオークラ(81・2)。
- 3位ホテル日航(78・6)。
- 帝国ホテルは16年連続で1位。
- ビジネスホテル1位
- 2位ドリーミン(81・7)。
- 3位リッチモン

- ドホテル(79・8)。
- 3位スーパーホテル(78・6)。
- 4位ダイワロイネットホテル(76・3)。
- 国内長距離交通1位
- 2位スカイマーク(77・2)。
- 3位フライトエアー(76・8)。
- 4位ANA(74・6)。
- 5位ANA(74・6)。
- 新幹線のカテゴリーでは東北新幹線教育サービス1位(74・1)。

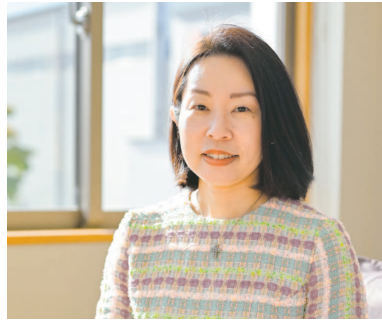
- 生命保険1位
- 2位三井住友海上(79・7)。
- 3位あいおい生命(77・3)。
- 4位オリックス生命(74・1)。
- 5位ソニー生命(73・1)。
- 損害保険1位
- 2位日本損害保険(78・3)。
- 3位都道府県民共済(住宅・火災

CONTENTS
実践「生産性改革」詳報 2
経営と歴史の交差点① 3
関西特集 4
年末年始無災害運動にあたって(上) 6
プロノとは何か(下) 7

今年7月に第67回軽井沢TOP・マネジ
メント・セミナーに登壇したフジワラテク
ノアート代表取締役副社長の藤原加奈氏
は、「実践『生産性改革』」のインタビュ
ーに応じ、中小企業が持続的に成長するた

めには、「特色を突き詰める」ことによ
って競争力を高めることが重要になるとの考
えを示した。また、自律的な社員の育成や
エンゲージメントの向上のためのユニーク
な取り組みなどを紹介した。(詳報2面)

藤原氏が改革への旗印
として策定した2050
年に向けたビジョンで
界にもっと価値を提供す
るためには、社会や未来
を高度に利用するものづくりに果敢に挑戦したいと
ストリーを多様なパー
トナーと共創し、新たな
市場や産業を創出する」
と掲げている。
藤原氏は「お客様との
信頼関係を守り続ける使
命や、日本の食文化の大
事な部分を支える責任感
を果たしながら、醸造業
年にもっと価値を提供す
るためには、社会や未来
を高度に利用するものづくりに果敢に挑戦したいと
ストリーを多様なパー
トナーと共創し、新たな
市場や産業を創出する」
と掲げている。



フジワラテクノアート
代表取締役副社長
藤原加奈氏

社員自律化へビジョンマップ作製

これまで培ってきた技術
の棚卸しを行った。その
結果、フジワラテクノア
ートのさまざまなパイロ
ブ育成などのパイロ
セスと、製品溶接、機械
加工、仕上げ組み立てな
どものづくりの技術を
両方持っていることが唯
一無二であることを再確
認できたという。
藤原氏は「中小企業の
持続的な成長のために
は、自社の特色を突き詰
めることが重要であり、
当社の場合で言うと、バ
イオプロセスとものづく
りの技術の掛け合わせ
が強くあり特色」と
話す。
自社の技術を再定義す
ることで、醸造機械メー
カーという従来の枠を越
えて、社会課題を解決す
り、オープンにした。え
を示した。

中小企業は特色突き詰め成長へ

また、ビジョンを実現
していくカルチャーを生
み出すには、そのカルチ
ャーにフィットした言動
の積み重ねが必要であ
り、それを言語化した行
動指針として「フジワ
ラウェイ」を策定した。
こうした人的資本経営
推進の結果、地方の中小
企業として苦心していた
採用状況は大きく改善し
た。キャリア採用応募者
数は年間700人超(今
年度見込み)になった。
平均キャリア採用人数は
5人で、直近1年の採用
倍率は100倍超だ。
藤原氏は「大手勤務経
験のある高度人材の採用
が増加し、DXの取り組
みも急伸している。3年
目の得着なことで、21個のITツール・シ
ステムを導入し、内製型
が強いこと意識し、会
社にビジョン実現のため
DX推進体制が構築でき
てきた。社員とのワーク
に生かしてもらうため、
社員一人ひとりの力年
度見込み)になった。

ビジネスコンプライアンス検定



(主催)サーティファイコンプライアンス検定委員会
(後援)EY新日本有限責任監査法人
株式会社東洋経済新報社

リーガル エンカル コンプライアンス
(法令+倫理)×責任×行動

第41回公開試験概要

試験日 2025年2月2日(日)
試験時間 初級 60分
10:00~12:00の間に試験開始
上級 120分
13:00~15:00の間に試験開始
受験料(税込) 初級 5,900円/上級 8,400円
実施会場 自宅、または所属する企業、教育機関等の団体施設(要:インターネット環境、パソコン等)
申込締切 2025年1月26日(日)
申込方法 Web申込にて受け付けております。
詳細は、以下をご覧ください。
<https://www.sikaku.gr.jp/co/individual/>

サーティファイ団体受験制度

企業・各種法人等の団体が、設置保有する施設において所属する社員・スタッフ等を対象に団体単位で検定を実施する制度のことをいいます。団体受験を行うことにより、種々の優遇制度を受けることが可能となります。

受験人数 一名様より実施が可能です。
試験形式 Webテストまたはマークシートからお選びいただけます。

団体受験制度の活用をお考えの方は、事務局までお気軽にお問い合わせください。
担当者よりご説明をさせていただきます。

意思決定に自信を与える
コンプライアンスへの深い理解と活用能力を証明

株式会社サーティファイ認定試験事務局
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-11-8 茅場町駅前ビル
TEL:0120-031-749 / FAX:0120-031-750 / URL:<https://www.sikaku.gr.jp/co/>

実践 生産性改革

フジワラテクノアートは創業者である曾祖父が1933年に創業した老舗の機械メーカーで、今年91年目を迎える。日本酒、醤油、味噌などを製造する醸造機械が主力で、同様のビジネスモデルの会社は日本に2社しかない。

フジワラテクノアートは醸造の各プロセスに対応する技術や装置を確立し、醸造プロセスを産業化する「ノウハウを強みとしている。特に醸造食品製造の肝とされる麹造りに関する技術が得意だ。蒸した米や大豆、炒った小麦に麹菌という微生物が生えることで麹となり、麹のもつ酵素の作用で醤油や日本酒などがつくられる。産業規模で微生物を均一に培養するには高度な制御が求められるが、挑戦の積み重ねでそれを表現した。

主な販売先は、日本全国の日本酒、焼酎、醤油、味噌などの醸造食品メーカーを中心に約1500社。納豆、甘酒、酵素などの製造設備の納入実績も増加しており、アルファ化米(非常食)や製粉設備など一般食品業界にも展開している。国内の機械製能力シェアは80%に達している。

57年前の1967年から醸造機器の輸出を開始しており、現地ローカル企業との直接取引や、日本企業の海外工場など海外27カ国に設備を納入し、海外比率は3割から4割に上る。

提供価値を向上させるために実践しているのはフルオーダーメイドのものづくりで、お客様の設備改善ニーズや最新の技術を柔軟に採用している。効率を求めるならば標準品が適しているが、長く使っ

フジワラテクノアート代表取締役副社長 藤原加奈氏 インタビュー詳細

人的資本経営で多様な「個」が躍動

(ふじわら・かな)慶應義塾大学卒業後、大手食品メーカーに勤務。近畿大学4年時に父が急病で社長に就任していたフジワラテクノアートに2005年に入社。2015年に同社取締役副社長に就任、2021年より現職。2児の母。

でももう設備としてはお客様のニーズに沿った注文品のほうが良い。また、単品からフロント一式、エンジンアラインクにも対応するトータルエンジンアラインクも特徴だ。品質と耐久性にも優れているほか、安定稼働までの伴走、トラブル時の緊急対応などアフターフォローも徹底している。これらの複合的な要素が価値になって、お客様に評価いただいている。

多様性を生かしたダイバークットを整理した。シェアが8割を超えたことで、逆に、危機感が高まっている。シェアは先代までの努力であり、私の代で、どのように成長させていくのかを悩ませた。2018年に「2050年に向けたビジョン」を「微生物のチカラを高度に利用するものづくり」として掲げた。ビジョンを絵に描いた餅にせず、一人ひとりが個人のビジョンにつなげていくことが重要だと考えている。

「150人の組織でここまでやっていく」と言われるが、社員一人ひとりが自律的に動くことが大事で、そういう社員がいる会社が伸びている。専門性(得意を發揮する)、利他心(思いやり)、挑戦心(失敗を恐れない)、

「150人の組織でここまでやっていく」と言われるが、社員一人ひとりが自律的に動くことが大事で、そういう社員がいる会社が伸びている。専門性(得意を發揮する)、利他心(思いやり)、挑戦心(失敗を恐れない)、



微生物のチカラで価値共創

経営を承継する覚悟を決めた時、まず手付けたのが人事制度の刷新だった。フジワラテクノアートの新人事制度基本方針は、資格級ごとに定義を明確化し、成長ステップを提示、会社の戦略と人の成長を結び付けることを目指している。資格定義、目標設定、評価、処遇を一貫させ、市場競争力のある報酬に向けて見直しを行った。

「150人の組織でここまでやっていく」と言われるが、社員一人ひとりが自律的に動くことが大事で、そういう社員がいる会社が伸びている。専門性(得意を發揮する)、利他心(思いやり)、挑戦心(失敗を恐れない)、

「150人の組織でここまでやっていく」と言われるが、社員一人ひとりが自律的に動くことが大事で、そういう社員がいる会社が伸びている。専門性(得意を發揮する)、利他心(思いやり)、挑戦心(失敗を恐れない)、

「150人の組織でここまでやっていく」と言われるが、社員一人ひとりが自律的に動くことが大事で、そういう社員がいる会社が伸びている。専門性(得意を發揮する)、利他心(思いやり)、挑戦心(失敗を恐れない)、

人的資本経営が多様な「個」の躍動を実現すると考えている。フジワラテクノアートの人的資本経営のキーワードは「経営への共感の醸成だ。ミッション・ビジョン・バリューの浸透に力を入れていく。社員が腹落ちするまで経営への共感を醸成させることが生産性向上にもつながる。

「150人の組織でここまでやっていく」と言われるが、社員一人ひとりが自律的に動くことが大事で、そういう社員がいる会社が伸びている。専門性(得意を發揮する)、利他心(思いやり)、挑戦心(失敗を恐れない)、

「150人の組織でここまでやっていく」と言われるが、社員一人ひとりが自律的に動くことが大事で、そういう社員がいる会社が伸びている。専門性(得意を發揮する)、利他心(思いやり)、挑戦心(失敗を恐れない)、

「150人の組織でここまでやっていく」と言われるが、社員一人ひとりが自律的に動くことが大事で、そういう社員がいる会社が伸びている。専門性(得意を發揮する)、利他心(思いやり)、挑戦心(失敗を恐れない)、

動画で学ぶ! 職場のメンタルヘルス
オンラインにも対応! どんな研修スタイルでも、使える媒体がきっとある!

職場のメンタルヘルス対策シリーズ (全3巻)

[DVD] 各巻 55,000円(税込) / 字幕選択式 / 活用ガイド付
[動画配信] 各巻 165,000円(税込) ~ [動画データ] 各巻 308,000円(税込) ~

セルフレア用 **第1巻 セルフケア 全員編** (36分 / 内リモートワーク 4分)
セルフレア用 **第2巻 セルフケア 新人・若手社員編** (29分 / 内リモートワーク 4分)
ラインケア用 **第3巻 管理職のためのラインケア** (27分 / 内リモートワーク 3分)

受けよう、活かそう! ストレスチェック (15分)

[DVD] 全1巻 44,000円(税込) / 字幕選択式 / 活用ガイド付
[動画配信] 165,000円(税込) ~ [動画データ] 308,000円(税込) ~

働く人の被災後の心のケア (30分)
〜トラウマ・PTSDを知る〜 ①被災者編

[DVD] 全1巻 49,500円(税込)
[動画配信] 165,000円(税込) ~ [動画データ] 308,000円(税込) ~

※QRコードから各作品のダイジェスト動画をご覧いただけます。

ASP CREATE 株式会社

TEL: 03(5803)9511 FAX: 03(5803)9530
〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-17 ICNビル
[e-mail] info@asp-create.com
[URL] https://www.asp-create.com

～セミナーのご案内～

賃金交渉の基礎セミナー

日時: ◆当日会場・オンライン受講◆
2024年12月4日(水) 10:00~16:00
◆録画受講◆
2024年12月17日(火)~2025年2月28日(金)

講師: 村越 雅夫 (日本賃金研究センター コンサルタント)

労働条件の変更・不利益変更をめぐる法的留意点セミナー

日時: ◆当日会場・オンライン受講◆
2024年12月6日(金) 13:30~16:30
◆録画受講◆
2024年12月19日(木)~2025年1月31日(金)

講師: 木村 一成氏 (共栄法律事務所 パートナー弁護士)

産労総合研究所附属 日本賃金研究センター セミナー事務局
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 三宅ビル E-mail: cnt01@sanro.co.jp
TEL: 03-5860-9771 WEBサイト: https://www.e-sanro.net/